

Solist ツアーを彩るソリストたち



河村尚子 Hisako Kawamura

山田和樹が「ソウルメイト」と語るピアニストで共演も多い。ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝などの受賞歴を誇る。ドイツを拠点にリサイタルを行う他、ウィーン交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団などのソリストに迎えられている。今ツアーでは、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」を演奏する。第51回サントリー音楽賞受賞。2007-2008年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。



※離れた場所で演奏する別働隊のこと
★上記公演ほか、兵庫公演(6/29)には、甲子園学院中・高等学校の学生たちが出演します。

Information 公演情報

【東京】

6月30日(月) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール (シェク・カネー＝メイソン出演)
7月 1日(火) 19:00 サントリーホール (河村尚子出演)
7月 2日(水) 19:00 サントリーホール (イム・ユンチャン出演)

【京都】

7月 5日(土) 15:00 ロームシアター京都 メインホール (シェク・カネー＝メイソン出演)

主催：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション ジャパン・アーツ 特別協賛：ローム株式会社 後援：ブリティッシュ・カウンシル

【その他来日公演】◎6月28日(土) 愛知県芸術劇場コンサートホール ◎6月29日(日) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO ◎7月 4日(金) アクロス福岡シンフォニーホール ◎7月 6日(日) 横浜みなとみらいホール

【お問合せ・お申込】

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
www.japanarts.co.jp

その他の問合せ先はHPをご覧ください。



(次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください) ①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

RoHM Music
Foundation
ローム ミュージック ファンデーション

CBSO News

RMF & Kazuki Yamada Global Project

ROHM
SEMICONDUCTOR

錦を飾る!!

山田和樹
ベルリン・フィル デビュー!

©Benjamin Edelaga

世界中のオーケストラから 注目され愛されるマエストロ 山田和樹

今、世界が最も注目している日本人指揮者は山田和樹に違いない。2023年にボストン交響楽団と、2024年にシカゴ交響楽団



及びニューヨーク・フィルと初共演し、2025年6月にはベルリン・フィルの定期演奏会にデビューする。また、山田和樹は現在、バーミンガム市交響楽団の音楽監督を務めている。



サイモン・ラトルがベルリン・フィルの芸術監督になる前の、あるいはアンドリス・ネルソンスがボストン交響楽団とライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のシェフを兼務する前のポストがバーミンガム市交響楽団の音楽監督だった。山田はまさに世界の音楽界が注目するポジションにいる。

どうして山田は世界のオーケストラ・プレイヤーたちを、そして世界の聴衆を魅了するのだろうか？ まずは物怖じしない性格。2009年のブザンソン国際指揮者コンクールに優勝、同年に、ミシェル・プラッソンの代役で「幻想交響曲」を指揮してパリ管弦楽団にデビューした。代役で名門楽団の十八番レパートリーで成功を収めるなど、ただものではない。次に常識を破ろうとする**実験的精神**。横浜シンフォニエッタとモーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」を全員暗譜で演奏したり、日本フィルではモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」で奏者を誕生月別に分けて変幻自在に変化させたりしていた。そして**反骨精神**。みんながやるから自分もやるということをやよしとしない。ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」だって、ストコフスキー版、ジュリアン・ユー版、ヘンリー・ウッド版等は既に演奏しているが、ラヴェル版はまだ指揮していない。



©Andrew Fox

山田和樹は、「(日本のオーケストラと比べて)欧米のオーケストラは一人ひとりに強烈な個性があり、色がある。それが集まっている集団」と語る。前回のバーミンガム市交響楽団との来日公演で演奏したエルガーの交響曲第1番では、主張の強いメンバーの気持ちを一つに束ねて、弾き手をそして聴き手をより高い次元に連れて行ってくれた。この夏、山田はベルリン・フィルという猛者の集団を相手にどのようにメンバーたちの心をつにしていけるのだろうか。そして、バーミンガム市交響楽団とはまた我々を別の世界へ連れて行ってくれるのだろうか。本当に楽しみだ。

山田治生(音楽評論家)

RMF & 山田和樹 グローバル プロジェクト

山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団

6~7月来日!

英国王室御用達!? 世界が注目するスター

シェク・カネー＝メイソン直撃インタビュー!

Interview



シェク・カネー＝メイソン

2018年ウィンザー城にて行われたロイヤル・ウェディングで演奏。ヨーロッパ特にイギリスではスーパースター。今シーズンは、ベルリン・コンツェルトハウスのアーティスト・イン・レジデンス、ルツェルン音楽祭のアーティスト・エトワールを務めている。山田和樹はもちろんオーケストラも、日本ツアーでの再共演を楽しみにしている。

英国人チェロ奏者のシェク・カネー＝メイソンは、若手のホープであり、クラシック音楽という枠を超えて、いま熱く注目を集める存在だ。

2016年、17歳のときにBBC主催のヤング・ミュージシャンコンクールで優勝し、一躍注目を集めるようになる。カリブ海のアンティグア島出身の父と、西アフリカのシエラレオネ出身の母を持ち、尊敬する音楽家はジャクリーヌ・デュ・プレ(チェロ)や、レゲエの先駆者ボブ・マーリーと、ジャンルの垣根をやすやすと超える。チェリストとして史上最年少でDECCAと専属契約すると、2020年にリリースした『エルガー』は全英アルバムチャートで8位にランクインする快進撃を見せた。



©Chris O'Donnell

そんなシェクは今シーズン、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスを務め、協奏曲や室内楽、ピアノリストの姉イサタとのデュオリサイタルなど、バラエティに富んだプログラムを披露している。2月初旬のベルリンでの公演前に、インタビューに応じてくれた。

この6月～7月、山田和樹&バーミンガム市交響楽団との来日公演で披露するエルガーのチェロ協奏曲について、シェクはこう語る。



「チェロという楽器を本当に好きにさせてくれた特別な曲です。深い感情表現に満ちており、とてもパーソナルかつ親密なもの。バーミンガム市響の日本公演でこの曲を共演できる



©James Ffrench
(右) 姉でピアニストのイサタ・カネー＝メイソン

のをとても楽しみにしています。指揮者の山田和樹さんは、魂のこもった、創造的なアプローチの方法を持っていると思います」。

山田についての印象は、「素晴らしい音楽性の持ち主で、オーケストラも彼を愛していると思いますよ。実際、音楽監督としての契約を延長したばかりで、両者の共同作業がとてもうまくいっていることの証拠だと思います」。

山田はシェクと初共演した時のことを「彼の音楽に対する素直さがなにより嬉しかった」と語っているが、実際に話してみてその言葉を実感できた。25歳のシェクが弾く1700年製のベネツィアの名器は、「深くダークで、味わい豊かな音色」を出せる楽器だという。若きチェロの名手と山田、そしてエルガーの本場の響きを熟知したバーミンガム市響という三者による共演は期待大だ。



©Ollie Ali

中村真人(音楽ジャーナリスト／ベルリン在住)

世界中で20億人に視聴されたロイヤル・ウェディングの動画はこちらから▶



シェク・カネー＝メイソンのことをもっと知りたいアナタは▶



新譜発売決定!

世界が注目するチェリストが紡ぐ、20世紀の名作たち『ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番 他』
6月25日(水) 発売 ¥3,300(税込)
共演:イサタ・カネー＝メイソン(ピアノ)ほか
録音:2024年10月～11月(サフォーク スネイク・モルティンクス ほかにて)

ここから未来の巨匠が生まれる!?

ローム ミュージック セミナー2025〈山田和樹・指揮クラス〉開催

2025年7月2日(水)10:00～13:30

音楽の友ホール
(東京都新宿区神楽坂6-30)
聴講料:1,000円
(現地にてお支払いください)

受講生は、バーミンガム市交響楽団メンバーによる小編成の弦楽アンサンブルを指揮します。



©山田和樹
昨年度のプロジェクトではアシスタント指揮者を起用

山田和樹 受賞ラッシュ! 第56回サントリー音楽賞ほか

昨年の〈RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト〉であるモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団との日本ツアーでベルリオーズ:《幻想交響曲》やサン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》を演奏したことも、サントリー音楽賞受賞理由の一つに挙げられました。このほかイギリスでは、ロイヤル・フィルハーモニック・ソサエティ賞指揮者部門を受賞し、バーミンガム市響との契約も2028/2029シーズンまで延長されるなど、山田和樹の躍進が続いています。



©Matthew Fox
2023年4月 バーミンガム市交響楽団首席指揮者就任記念公演



詳しくはこちら



©Shinya Ebisawa

山田和樹が語るシェクの魅力

「英国王室のセレモニーで演奏するなど、イギリスで非常に有名なチェリストであるシェク。得も言われぬ音色を持つチェリストですが、彼の一番の魅力は素直さ。素直に音楽と向き合う彼の奏でる音楽には、喜びが詰まっています。バーミンガムで一度共演した際、彼の素直な心に触れたのがとにかく嬉しかったです! すっかり大好きになりました!」



©Ollie Ali

ラヴェル版より古い!? ヘンリー・ウッド編曲版「展覧会の絵」

ロンドンから鉄道で2時間30分。バーミンガム市は18世紀半ばから始まった産業革命で急速に発展した、イギリスの主要都市である。産業とともに文化的な機運も高まり、いくつものオーケストラが生まれては消えていく中、再編・集約されていった団体がバーミンガム市交響楽団のルーツだ。当時からヘンリー・ウッドやハンス・リヒターなどの元で演奏し、オーケストラ文化が人々に親しまれていたとともに、合唱文化も盛んだったことは、メンデルスゾーンのオラトリオ『エリヤ』の世界初演が、1846年バーミンガム市で行われていることから想像できるだろう。

オーケストラの設立は1920年。初めてのコンサートで、エルガー自身の指揮により披露されたのが、今回の日本公演でシェクが演奏するエルガー作曲のチェロ協奏曲だ。

戦争などの混乱期を経て、オーケストラが現在の名称「バーミンガム市交響楽団(City of Birmingham Symphony Orchestra)」として再出発したのは1948年。1970年からは名匠ルイ・フレモーがポストに就きレパートリーを拡充するなど発展に寄与。1980年には、当時「ほとんどの人にとってまだ無名の存在」だったサイモン・ラトルを首席指揮者に抜擢。名演奏・名録音により国際的な名声を獲得するに至る。1998年まで同団の音楽監督を務めたサイモン・ラトルが後年ベルリン・フィルの指揮者に就任、その後もサカリ・オラモ、アンドリス・ネルソンス、ミルガ・グラジニエーティエラ、山田和樹が同団の指揮者を務めることで「CBSOの先見性」が注目されるようになった。

ところで、今回の日本公演で演奏される『展覧会の絵』だが、山田和

樹はヘンリー・ウッド版を選んでいる。これは、現在最もよく演奏されるラヴェル版より前に編まれたもの。先述のとおり、ヘンリー・ウッドはバーミンガム市で音楽活動を行い、イギリスの夏の風物詩とも言えるBBCプロムス(プロムナードコンサート)の創設当時から指揮者として長く活躍していた。

ヘンリー・ウッドが、新作の紹介にも熱

心で、多くのイギリス初演、世界初演を手がけた指揮者だったこともあわせ、今回の日本公演で、あえてヘンリー・ウッド版『展覧会の絵』を披露することは、山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団の真骨頂、面目躍如だろう。



ヘンリー・ウッド/長い指揮棒がトレードマーク